

第38回有瀬図書館ギャラリー展

2016.11.12（土）～12.10（土）

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

Meridian

神戸学院大学有瀬図書館

展示会通信第41号

2016年11月21日発行

博物館実習Ⅰ A班



古代からのおくりもの

はにわ
～埴輪を中心に～

歴史の教科書でもかならず目にする「埴輪」。しかし、その実態や種類などは、意外と知られていません。じつは、その種類は様々で、多くの形が存在します。なかには、作られた地域や時代が限定されているものなど、地方によってもさまざまであったことがわかるものもあります。いったい、古代の人々はなにを思い、そのような埴輪を作ったのでしょうか。本展では、弥生時代から古墳時代にかけての遺跡から出土したものを中心に、埴輪について紹介します。(A班)

埴輪の種類

円筒埴輪

最初期に登場したとされる埴輪。もとは壺を乗せる台だったものが発展したと言われています。種類は普通円筒と朝顔形円筒、鱗付(ひれつき)円筒の3つがあります。



By I, Sailko <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=22566687>

形象埴輪

円筒埴輪と違い、物の形を模したものです。本展ではこちらを取り扱いました。住居などの形を模した家形埴輪、武具・家具などを模した器材埴輪、水鳥や馬などの生き物を表した動物埴輪、人物を表した人物埴輪などに分けられます。



これら埴輪以外にも、古墳から発掘された埴輪などを展示しています。



展示作業風景



編集後記

今回のギャラリー展は、すべて博物館実習の学生の手によって展示されています。A班・B班に分かれそれぞれ見応えのある内容を展示していただきました。これまでとは少し違うギャラリー展をお楽しみください。

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第41号

2016年11月21日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL：078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>

われわれの生きる糧である「食事」。

いまやインスタント食品などが普及し簡単に食事をとることができます。

しかし、昔は食事をすることは非常に大変なことでした。

山に動物を狩りに行ったり、海に魚を捕りに行ったり。

本展では、弥生時代を中心に「狩」・「農」・「漁」で使用された道具、そこから派生して誕生した「祭」で使用されていた道具を詳しく紹介します。（B班）



狩

鎌倉時代の人びとは主にシカ・イノシシを狩猟していました。

狩猟する時に使用したといわれる道具を展示しております。



石鏃（せきぞく） 石匙（いしさじ）



農

弥生時代になると本格的に稲作が行われるようになりました。

コメを食べることが増え、収穫する際に使用していた道具などを展示しております。



石包丁 石鎌



漁

時代が移り行く中でも変わらずに行われていた漁業。

海の幸を取り入れた食事をする際に使用していた道具を展示しております。



蛸壺 製塩土器



祭

人びとの生活は環境に大きく影響されました。天候によって不作になることもあったので、豊作を祈る儀式が誕生しました。儀式の際に使用されていたといわれるものを展示しております。



小型丸底壺 土師器（はじき）

第38回有瀬図書館ギャラリー展

2016.11.12（土）～12.10（土）

開催場所：神戸学院大学有瀬図書館

本館2階 エントランス展示コーナー

Meridian

神戸学院大学有瀬図書館

展示会通信第41号

2016年11月21日発行

博物館実習 I B班

古代飯

～“モノ”から読み取る生活～

